

平成 26 年度

業 務 実 績 ・ 決 算 の 概 要

目 次

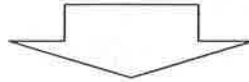
1. 平成26年度業務実績 .....	1
2. 平成26年度決算 .....	6
3. 平成26年度収支実績の前年度対比 .....	7
4. 平成26年度収支計画と収支実績の対比 .....	9

平成26年度業務実績

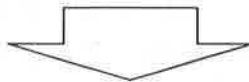
1 自己評価結果

(1) 自己評価の方法

- ① 年度計画の個別項目ごとに達成状況を5段階評価（5点、4点、3点、2点、1点）  
 ※3点が標準（達成度90～100%未満）



- ② 中期計画の4つの大項目ごとに達成状況を5段階評価（s、a、b、c、d）  
 ※bが標準（評点①の単純平均値2.7以上3.4以下）



- ③ 中期計画全体の達成状況を5段階評価（S、A、B、C、D）  
 ※Bが標準（評点②の加重平均値2.7以上3.4以下）

(2) 自己評価の結果

◆全体的な状況

中期計画全体の進捗は「概ね順調」（標準のB評価）

◆評価概要

区分	評価 項目数	評点別項目数					評点 平均値	評定
		5点	4点	3点	2点	1点		
業務の質の向上	38	1	10	27	0	0	3.3	b
業務運営の改善等	7	0	1	6	0	0	3.1	b
財務内容の改善	1	0	1	0	0	0	4.0	a
その他重要事項	4	0	1	3	0	0	3.3	b
全体	50	1	13	36	0	0	3.42	B

※全体欄の評点平均値は、加重平均したもの。

## 2 主要な成果

### (1) 業務の質の向上

#### ① 医療の提供

##### ア 総合医療センター

(ア) 高度急性期病院としての重症系ユニットの拡充(ICU、NICUの増床)。

(イ) 弓部大動脈瘤に対する胸部ステントグラフト内挿術の症例数は、全国トップレベル。

(ウ) 合併症妊娠等のハイリスク妊娠・分娩において、循環器内科、脳神経外科等の全科の専門医との連携体制のもと、安全性の高い周産期医療を提供。

(エ) 人工関節センターにおける人工関節(股・膝)置換術の手術件数は県内1位。

・人工関節(股・膝)置換術件数343件(前年度実績312件)

・中国・四国地区3位(股関節)、4位(膝関節)

##### イ こころの医療センター

(ア) 児童思春期外来について、県内児童思春期の患者への専門治療に寄与するとともに、県を中心とした関係機関(児童相談所、知的障害者更生相談所)への医師派遣などの支援を実施。

(イ) 高次脳機能障害支援拠点病院として、専門相談を受けるとともに、支援ネットワーク充実による地域の支援体制を強化

##### ウ 医療従事者の確保

(ア) 病棟薬剤師の配置や、理学療法士の大幅な増員など、専門性の高いコ・メディカルスタッフの増員により、医療安全及び医療の質を向上。

(イ) 院内保育園の病児保育(体調不良児及び病後児)の当日受入体制の整備、夜間保育を週3日に拡大。

##### エ 施設設備の整備

機能拡充のため増築(総合C)

・総合周産期母子医療センター(NICU及びGCU各3増床)

・ICU(6床増床)、手術室(2室(うちハイブリッド室1室))の拡充

##### オ 医療安全対策、患者サービスの向上

(ア)「入退院支援センター」に専門職員(管理者:1名、看護師:4名、事務:1名)を配置して入院に関するきめ細かい事前説明を開始。(総合C)。

(イ) 医療保護入院患者に対する早期退院促進のために、退院支援委員会を設置し退院後生活環境相談員を配置(こころC)。

(ウ) マンモグラフィ検診施設認定を取得(総合C)。

(エ) 院内カフェコーナー設置(平成27年4月オープン)工事を行い、患者や見舞客等が快適に病院を利用できる環境を整備(総合C)。

##### カ 地域医療への支援

兼業制度により、他の医療機関からの診療応援要請等に対応(26年度兼業許可件数395件)

② 医療に関する調査及び研究

- ア 県民公開講座の開催(4回)及び病院広報誌の定期発行による情報提供の推進。
- イ テレビ「やまぐち医療最前線」により、高度・専門医療を県民に周知(総合C)

③ 医療従事者等の研修

医療関係の実習生の積極的な受入。(初期研修医25名、救急救命士23名など)

(2) 業務運営の改善等

経営体制の確立、効率的・効果的な業務運営、経営改善

- ア 医療需要等の変化に的確に対応した業務体制の整備。
  - ・部門別原価計算システムを導入し、経営分析を開始(総合C)
  - ・高次脳機能障害支援拠点病院の指定(こころC)
- イ 薬剤部長の兼務、精神科医師・診療放射線技師の相互派遣を実施。

(3) 財務内容の改善

収支計画の達成

- ア 収支計画に対して実績(当期純利益)が1,457千円上回った。

(千円)

	H26 計画	H26 実績	差引
総合医療センター	190,956	165,199	△25,757
こころの医療センター	3,800	19,813	16,013
本部事務局	△143,692	△132,491	11,201
法人全体	51,064	52,521	1,457

イ 収入及び支出の状況

収入の部は、計画に比べ、87,662千円増加。

- ・入院診療収益は、診療単価の増(総合C)、診療単価の減(こころC)等。
- ・外来診療収益は、診療単価の増(総合C)、外来患者数の増(こころC)等。

(千円)

区 分		総合医療センター	こころの医療センター
入院	延患者数(人)	152,227	61,483
	診療単価(円)	63,077	22,074
外来	延患者数(人)	214,115	32,751
	診療単価(円)	12,891	6,340

支出の部は、計画に比べ、86,205千円増加。

- ・給与改定に伴う給与費の増、値引き額の増による診療材料費の減や修繕費、委託費、水道光熱費などの経費の増(総合C)、修繕費の減(こころC)等。

(4) その他重要事項

人事・給与制度、就労環境の整備

医師人事評価制度の導入及び病児保育等の充実。

### 3 対処すべき課題

#### (1) 県立病院として積極的に対応すべき医療の充実（総合医療センター） No. 1

・総合医療センターにおいては、国の社会保障制度改革の動向を注視しながら、高度急性期病院としての地位を確保するため、重症系ユニットの拡充や高度な手術ができる環境づくりを進めていく必要がある。また、DPCⅡ群病院として、高度・専門的な医療を提供する必要がある。

#### (2) 県立病院として積極的に対応すべき医療の充実（こころの医療センター） No. 16

・こころの医療センターにおいては、児童思春期専門医療の提供について、関係機関からの派遣要請が増加するとともに、複雑困難な案件の受診依頼が増加していることから、児童思春期分野における関係機関と家族の調整機能の充実が必要である。

#### (3) 医療従事者の確保 No. 19

・医療の質の向上を図るため、呼吸器科の医師をはじめ高度専門医療を担う医師の確保に努める必要がある。また、急性期看護配置の安定に向けて、必要度や重要度に応じた傾斜配置や夜勤要員としての看護師を確保するとともに、リハビリ職員や病棟薬剤師などチーム医療を進めるための、質の高い医療従事者を確保する必要がある。

#### (4) 地域医療連携の推進 No. 31

・総合医療センターにおいては、紹介率及び逆紹介率はいずれも向上した。今後、より一層病床機能の役割分担の検討を進め、地域医療機関及び介護施設との連携に取り組む必要がある。

#### (5) 臨床研究の実施 No. 34

・治験は全国的に減少傾向にあり、今後の増加は見込めないが、製造販売後調査や臨床研究については順調に新規契約が見込まれることから今後も積極的に受け入れる必要がある。

#### (6) 費用の節減 No. 45

・医薬品及び診療材料の購入については、ベンチマークを用いた値引き交渉を行い、更なる経費削減を図る必要がある。また、診療材料については、SPD業者による院外倉庫を活用した新たな物流システムを導入し、より適切な管理・運用を進める必要がある。

## ○県立病院の役割

	平成26年度の実績
救急医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドクターヘリや救急車による重傷患者の24時間365日受入               <ul style="list-style-type: none"> <li>*救急車受入台数 2,582台</li> </ul> </li> <li>・救急入院患者への対応の充実（HCU（準集中治療室）の運用）               <ul style="list-style-type: none"> <li>*救急患者数 14,973人</li> </ul> </li> </ul>
周産期医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイリスク妊婦や重篤な新生児の受入</li> <li>・切迫早産や妊娠高血圧症候群等の産科合併症妊婦の受入</li> <li>・母体合併症を持った妊婦の積極的な受入               <ul style="list-style-type: none"> <li>*合併症妊娠の受入 219件</li> <li>*新生児入院件数 134件</li> <li>*新生児外科実施件数 9件</li> </ul> </li> </ul>
へき地医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎週水曜に萩市相島、毎週金曜に山口市徳地柚木で巡回診療               <ul style="list-style-type: none"> <li>*巡回診療実施件数 97回</li> </ul> </li> <li>・代行診療業務を延べ66日間実施（4市9か所）               <ul style="list-style-type: none"> <li>岩国市：本郷診療所、</li> <li>柳井市：平郡診療所</li> <li>周南市：大津島診療所、鹿野診療所、須金診療所</li> <li>萩市：福川診療所、見島診療所、大島診療所、須佐診療センター</li> </ul> </li> <li>・萩市休日急患診療センター及び長門市応急診療所へ医師を派遣し、休日・夜間診療を支援（萩市：延べ56日、長門市：延べ48日）</li> <li>・へき地からの入院受入体制（へき地医療支援ベッド機能）を整備</li> <li>・「長州総合医・家庭医養成プログラム」により、家庭医療専門医及び総合医の研修を実施</li> <li>・自治医大卒業医師のキャリア形成支援を行い、医師の県内定着を推進</li> </ul>
災害医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹災害拠点病院として、災害派遣医療チーム（DMAT）を3チーム確保               <ul style="list-style-type: none"> <li>*災害訓練への参加 3回</li> </ul> </li> </ul>
感染症医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内唯一の「第一種感染症指定医療機関」として体制を確保               <ul style="list-style-type: none"> <li>*感染症に関する訓練の実施 1回</li> </ul> </li> </ul>
精神科救急医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科救急医療システムの基幹病院として、一般救急との連携を高め、入退院調整や早期退院・社会復帰に向けた体制を強化               <ul style="list-style-type: none"> <li>*時間外・休日・深夜診療件数 206件</li> <li>*精神科救急情報センター対応件数 286件</li> </ul> </li> </ul>

平成26年度決算

1 企業会計ベース

(1) 貸借対照表の要旨 (平成27年3月31日現在)

(単位 百万円)

資産の部		負債及び純資産の部	
固定資産	15,455	固定負債	14,274
有形固定資産	15,099	資産見返負債	1,559
土地	3,734	長期借入金	2,324
建物	8,274	移行前地方債償還債務	5,094
器械備品	2,409	退職給付引当金	5,297
その他	682	流動負債	3,222
無形固定資産	351	一年以内返済予定	1,147
投資その他の資産	4	未払金	1,552
流動資産	6,777	その他	523
現金及び預金	4,018	【負債合計】	17,496
未収入金	2,676	資本金	3,144
その他	83	利益剰余金	1,591
		【純資産合計】	4,736
合計	22,232	合計	22,232

(注) 計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。以下同じ。

(2) 損益計算書の要旨 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(単位 百万円)

費用及び利益の部		収益の部	
営業費用	16,135	営業収益	16,181
医業費用	15,241	医業収益	14,164
一般管理費	311	運営費負担金収益	1,692
その他	584	その他	325
営業外費用	75	営業外収益	122
臨時損失	41	運営費負担金収益	40
当期純利益	53	その他	82
		臨時利益	0
合計	16,303	合計	16,303

2 官庁会計ベース

(単位 百万円)

収入の部		支出の部	
営業収益	16,181	営業費用	14,911
医業収益	14,164	医業費用	14,009
運営費負担金収益	1,692	一般管理費	318
その他	325	その他	584
営業外収益	122	営業外費用	75
運営費負担金収益	40	臨時損失	6
その他	82	資本支出	2,666
臨時利益	0	建設改良費	1,654
資本収入	1,574	償還金	1,012
長期借入金	1,178	資金収支	219
その他資本収入	396		
合計	17,878	合計	17,878



## 平成26年度収支実績の前年度対比

山口県立病院機構

### 【医業収益】

入院診療収益は、総合医療センターにおける地域医療支援病院加算の算定開始などによる診療単価の増、こころの医療センターにおけるスーパー救急患者等の増による診療単価の増などにより増加。

外来診療収益は、総合医療センターにおける外来化学療法の増や、こころの医療センターにおける専門外来患者数の増により増加。

### 【その他収益】

営業収益における運営費負担金は、共済追加費用に係る経費の減があったものの、派遣看護教諭等人件費の増などにより増加。

その他営業収益は、こころの医療センターにおける医療観察法病棟補助金の減などにより減少したものの、総合医療センターにおける集中治療室拡充に係る補助金の増などにより増加。営業外収益における運営費負担金は、借入利息の減により減少。

### 【医業費用】

医業費用は、総合医療センターにおける診療材料費の値引き額の増やこころの医療センターにおける院内処方の減などにより材料費が減少し、また、放射線治療機器借入償還完了に伴い減価償却費が減少したものの、給与改定による給与費の増などにより増加。

### 【その他費用】

控除対象外消費税は、資産に係る控除対象外消費税の増加。

臨時損失は固定資産除却費の増により増加。

### ◆対比表（損益計算書ベース）

（単位 千円）

区 分	H25	H26	差額	主な増減内容（前年度対比）
収入の部	15,903,527	16,303,594	400,067	
営業収益	15,738,063	16,181,096	443,033	
医業収益	13,763,076	14,164,423	401,347	
うち入院診療収益	10,721,547	10,959,155	237,608	診療単価の増
うち外来診療収益	2,803,120	2,967,800	164,680	診療単価及び外来患者数の増
運営費負担金収益	1,670,165	1,691,691	21,526	放射線治療機器借入償還完了による減（総合C）
その他営業収益	304,822	324,982	20,160	集中治療室拡充に係る補助金等の増（総合C）
営業外収益	165,114	122,236	△42,878	
運営費負担金収益	45,490	39,896	△5,594	借入利息の減
その他営業外収益	119,624	82,340	△37,284	貸倒引当金戻入の減
臨時利益	349	262	△87	
支出の部	15,620,142	16,251,073	630,931	
営業費用	15,523,742	16,134,967	611,225	
医業費用	14,902,000	15,240,808	338,808	
給与費	7,689,919	8,097,641	407,722	給与改定による増
材料費	3,710,043	3,680,285	△29,758	診療材料値引き額の増による減
経費	2,175,512	2,198,080	22,568	光熱水費の増
減価償却費	1,267,431	1,202,668	△64,763	放射線治療機器借入償還完了による減（総合C）
その他医業費用	59,095	62,134	3,039	研究研修費の増
一般管理費	302,425	310,505	8,080	派遣看護教諭等人件費の増（本部）
控除対象外消費税等	319,317	583,655	264,338	資産に係る控除対象外消費税の増
営業外費用	85,243	75,417	△9,826	借入利息の減
臨時損失	11,158	40,689	29,531	固定資産除却費の増
当期純利益	283,385	52,521	△230,864	

（注）計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

◆平成26年度収支実績の前年度対比表(部門別内訳)

前年度対比

(単位 千円)

区分	H25収支実績 A			H26収支実績 B			差額 (B-A)			主増減理由(前年度対比)		
	総合C	こころC	本部	総合C	こころC	本部	総合C	こころC	本部	総合C	こころC	本部
収入の部	13,716,381	2,021,654	165,461	15,903,527	14,094,358	2,029,099	180,137	16,303,594	377,967	7,445	14,656	400,067
営業収益	13,577,748	1,994,854	165,461	15,738,063	13,994,225	2,006,743	180,128	16,181,096	416,477	11,889	14,667	443,033
医療収益	12,242,932	1,520,144	0	13,763,076	12,598,819	1,565,604	0	14,164,423	355,887	45,460	0	401,347
うち入院診療収益	9,398,073	1,323,475	0	10,721,547	9,601,953	1,357,203	0	10,959,155	203,880	33,728	0	237,608
うち外来診療収益	2,607,237	195,883	0	2,803,120	2,760,147	207,654	0	2,967,800	152,910	11,771	0	164,680
運営費負担金収益	1,152,764	351,940	165,461	1,670,165	1,161,114	350,449	180,128	1,691,691	8,350	△1,491	14,667	21,526
その他営業収益	182,052	122,770	0	304,822	234,292	90,690	0	324,982	52,240	△32,080	0	20,160
営業外収益	138,628	26,467	20	165,114	99,871	22,356	9	122,236	△38,757	△4,111	△11	△42,878
運営費負担金収益	25,863	19,627	0	45,490	22,843	17,053	0	39,896	△3,020	△2,574	0	△5,594
その他営業外収益	112,764	6,840	20	119,624	77,028	5,303	9	82,340	△35,736	△1,537	△11	△37,284
臨時利益	16	334	0	349	262	0	0	262	246	△334	0	△87
支出の部	13,359,168	1,957,231	303,743	15,620,142	13,929,159	2,009,286	312,628	16,251,073	569,991	52,055	8,885	630,931
営業費用	13,302,077	1,917,922	303,743	15,523,742	13,849,379	1,973,041	312,547	16,134,967	547,302	55,119	8,804	611,225
医療費用	13,007,414	1,894,587	0	14,902,000	13,297,601	1,943,207	0	15,240,808	290,187	49,620	0	338,808
給与費	6,388,010	1,301,908	0	7,689,919	6,743,429	1,354,212	0	8,097,641	355,419	52,304	0	407,722
材料費	3,617,130	92,913	0	3,710,043	3,591,171	89,115	0	3,680,285	△25,959	△3,798	0	△29,758
経費	1,908,769	266,743	0	2,175,512	1,936,033	262,047	0	2,198,080	27,264	△4,696	0	22,568
減価償却費	1,042,622	224,809	0	1,267,431	972,856	229,812	0	1,202,668	△69,766	5,003	0	△64,763
その他医療費用(研究研修費)	50,882	8,213	0	59,095	54,112	8,022	0	62,134	3,230	△191	0	3,039
一般管理費	0	0	302,425	302,425	0	310,505	0	310,505	0	0	8,080	8,080
控除対象外消費税等	294,663	23,335	1,318	319,317	551,778	29,834	2,042	583,655	257,115	6,499	724	264,338
営業外費用	45,964	39,279	0	85,243	41,196	34,141	80	75,417	△4,768	△5,138	80	△9,826
臨時損失	11,127	31	0	11,158	38,584	2,105	0	40,689	27,457	2,074	0	29,531
当期純利益	357,223	64,423	△138,262	283,384	165,199	19,813	△132,491	52,524	△192,024	△44,610	5,771	△230,864

(注)計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

## 平成26年度収支計画と収支実績の対比

山口県立病院機構

### 【医業収益】

入院診療収益は、こころの医療センターにおける診療単価の減があったものの、総合医療センターにおける地域医療支援病院加算の算定開始などによる診療単価の増などにより増加。

外来診療収益は、総合医療センターにおける外来化学療法が増や、こころの医療センターにおける専門外来患者数の増により増加。

### 【その他収益】

営業収益における運営費負担金は、派遣看護教諭等人件費の減や共済追加費用に係る経費の減などにより減少。

その他営業収益は、総合医療センターにおける臨床研修医補助金や、こころの医療センターにおける医療観察法病棟補助金の減などにより減少。営業外収益における運営費負担金は、借入利息の減により減少。

### 【医業費用】

医業費用は、総合医療センターにおける診療材料費の値引き額の増や、こころの医療センターにおける院内処方による材料費の減などがあったものの、給与改定による給与費の増や、総合医療センターにおける外来化学療法など稼働の増に伴う材料費の増などにより増加。

### 【その他費用】

一般管理費は、派遣看護教諭等人件費の減などにより減少。営業外費用は借入利息の減により減少。

臨時損失は固定資産除却費の増により増加。

### ◆対比表（損益計算書ベース）

（単位 千円）

区 分	収支計画	収支実績	差額	主な増減内容（計画対比）
収入の部	16,215,932	16,303,594	87,662	
営業収益	16,080,771	16,181,096	100,325	
医業収益	14,010,444	14,164,423	153,979	
うち入院診療収益	10,890,266	10,959,155	68,889	診療単価の増
うち外来診療収益	2,870,684	2,967,800	97,116	診療単価及び外来患者数の増
運営費負担金収益	1,709,043	1,691,691	△17,352	派遣看護教諭等人件費の減（本部）
その他営業収益	361,284	324,982	△36,302	臨床研修医補助金の減（総合C）
営業外収益	135,161	122,236	△12,925	
運営費負担金収益	43,102	39,896	△3,206	借入利息の減
その他営業外収益	92,059	82,340	△9,719	固定資産貸付料等の減
臨時利益	0	262	262	不用品売払いの増（総合C）
支出の部	16,164,868	16,251,073	86,205	
営業費用	16,061,227	16,134,967	73,740	
医業費用	15,119,953	15,240,808	120,855	
給与費	8,078,866	8,097,641	18,775	給与改定に伴う増
材料費	3,653,090	3,680,285	27,195	外来化学療法件数増による増（総合C）
経費	2,127,949	2,198,080	70,131	修繕費、光熱水費等の増
減価償却費	1,190,354	1,202,668	12,314	集中治療室拡充部分等の増
その他医業費用	69,694	62,134	△7,560	研究研修費の減
一般管理費	343,951	310,505	△33,446	派遣看護教諭等人件費の減（本部）
控除対象外消費税等	597,323	583,655	△13,668	消費税対象経費の減
営業外費用	83,525	75,417	△8,108	借入利息の減
臨時損失	20,116	40,689	20,573	固定資産除却費の増
当期純利益	51,064	52,521	1,457	

（注）計数は、端数をそれぞれ四捨五入している。

